

## しらべる方法

対象は、「赤とんぼ」(アカネ属のトンボ類)です。デジタルカメラと筆記用具を持って出かけよう。

### 1 田んぼで「赤とんぼ」をさがそう。

晴れた日に田んぼに出かけて、「赤とんぼ」を探そう。  
家の近くの田んぼを思い出してみよう。わからなければ、大人や役所の人に聞いたり、地図でさがしてみよう。  
インターネットで公開されている、国土地理院の「ウォッチーズ」なども参考にしてみよう。

**お願い** 田んぼでは、農家の方に挨拶をして、田んぼのまわりで「赤とんぼ」をさがしてもよいか聞いてからしらべよう。  
田んぼの中に入ったり、畦(あぜ)を壊したりしないように注意しよう。

### 2 「赤とんぼ」を、観察する、写す、メモする。

- 場所の地名をメモする。
- 田んぼや水辺、見つけた場所の風景を写真に写す。
- 「赤とんぼ」の写真を書き写す。  
枝先などにとまっている「赤とんぼ」を横から撮影する。  
胸の模様が名前を見分けるポイントになります。  
違う種類の「赤とんぼ」を見つけたら、同じ方法で写真を写す。
- 別の日や他の場所でも、同じ方法でしらべてみる。



赤とんぼの写真

見つけた場所の風景

胸の模様がわかるように、横から写そう。

### 3 家でしらべる、まとめる。

- 撮影した写真をプリントアウトしたり、パソコンなどの大きな画面に映して、このマニュアルや昆虫図鑑を使って名前をしらべる。
- しらべた日にち、場所ごとに「調査シート」1枚と「赤とんぼの写真」、「風景写真」をセット。  
写真の裏にも念のため、撮影場所・撮影日・トンボの名前を記入する。

### 4 結果を送る。(10月31日締切)

調査シートと撮影した写真をセットにして、以下のいずれかの方法で日本自然保護協会へお送りください。

**メールで送信** shirabe2014@nacsj.or.jp ※記入項目は、自然しらべの特設ウェブサイトに掲載しています。ご利用ください。

**郵送** 〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F 日本自然保護協会 自然しらべ係

トンボ好き必見。日本自然保護協会の会員には、2014年9月1日発行の会報「自然保護」9/10月号の「トンボ特集号」がお手元に届きます。会員には誰でもなることができます。

## 気をつけよう【注意事項】

- 仲間と出かけよう。子どもは必ず大人と一緒にしらべよう。
- 熱中症にならないように帽子をかぶって、飲み物を持って出かけよう。
- ハチやヘビに注意 茂った草はらなどはいきなり入らない。思わぬ危険が。

#### 【写真と記録についてのお願い】

送っていただいた写真と記録は、貴重な資料として日本自然保護協会大切に保管します。また個人情報を除き、自然しらべに関する広報および自然保護やトンボ研究の発展のために、事前のお断りなく公表し活用させていただく場合があります。ご了承のうえお送りください。

\*個人情報、自然しらべに関する結果報告やご案内のためと当会からの自然保護の情報提供にのみ利用します。ご本人の承諾なしに、第三者に提供することはありません。

●主催:公益財団法人日本自然保護協会 ●共催:読売新聞東京本社  
●協賛:サニクリーン、JR西日本、カラータ ●誌面協賛:「一個人」KKベストセラーズ、「日経サイエンス」日経サイエンス社、「ecomom」日経BP社、「旅の手帖」「散歩の達人」交通新聞社 ●協力:日本トンボ学会、月刊ガルー、このは、モンベル、ニコン、学研グループ、e-ne!~good for you~(FMヨコハマ)、NEC presents THE FLINTSTONE(bayfm) ●後援:環境省 ●学術協力:松本和雄(日本トンボ学会会長)、梶真史(厚木市郷土資料館学芸員) ●写真提供:喜多英人(日本トンボ学会幹事)、石川一(日本トンボ学会幹事)、伊藤信男 \*順不同

自然のちからで、明日をひらく。  
**日本自然保護協会**  
THE NATURE CONSERVATION SOCIETY OF JAPAN  
〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F  
TEL.03-3553-4105 FAX.03-3553-0139

- 自然しらべをどちらで知りましたか。
- しらべてみて感じたことなど感想をお書きください。

新聞・雑誌・インターネット・NACS-J会報  
その他( )

- 「赤とんぼ」は見分けられましたか。

むずかしかった・やさしかった・マニュアルで区別できた  
その他( )

- 「田んぼ」がある場所を知っていましたか。

知っていた・役所に聞いて見つけた・大人に聞いて見つけた  
その他( )



# 赤とんぼ さがし!

空を自由自在に飛び回るトンボは、私たちにはなじみの深い昆虫です。

そんなトンボは、幼虫(ヤゴ)は水中で育ち、成虫は水辺を含む多様な空間を利用して生活しているため、水辺の自然環境の様子を知ることのできる生きものです。

近年、日本全国どこでも普通に見られたトンボが、各地で数を減らしています。

今年の自然しらべでは、そんなトンボの中から、アキアカネなどの通称「赤とんぼ」と呼ばれる仲間注目してしらべることで、みんなで身近な水辺・田んぼの環境の変化を明らかにしていきます。

また、お送りいただいたすべての写真(トンボの写真、楽しくしらべている様子等)を対象に、写真コンテスト「赤とんぼがいる風景」を行います。参加者プレゼントもあります。

**参加者特典! 自由研究にぴったり。**

「赤とんぼ」の情報を写真と一緒に送ってくださった方には、専門家からの「赤とんぼ なんでもアドバイス」や「しらべた赤とんぼの名前」を教えてもらえます。  
※アドバイス等はeメールで行います。連絡が必要な方はメールアドレスをお伝え下さい。返信には3~10日程かかります。

実施期間 2013年 7月1日 ~ 10月31日 主催 公益財団法人日本自然保護協会 共催 読売新聞東京本社  
協賛 Sanikleen JR西日本 COLORATA 誌面協賛 日経サイエンス 一個人 ecomom 散歩の達人 旅の手帖  
協力 日本トンボ学会 mont-bell Nikon GARRRV このは 学研グループ 後援 環境省  
E-ne!~good for you~ (FMヨコハマ) NEC presents THE FLINTSTONE (bayfm)